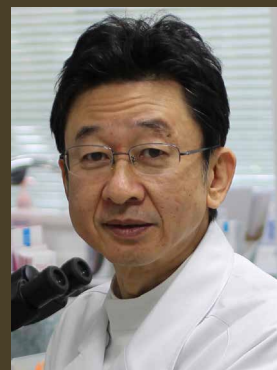


# 陥入爪・巻き爪の診かた、 治しかた

上出康二(上出皮膚科クリニック院長)



本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

- |                  |     |                           |     |
|------------------|-----|---------------------------|-----|
| 1. 爪器官・各部位の名称    | p2  | 6. 陥入爪の外科的治療              | p14 |
| 2. 陥入爪の発生機序      | p3  | (1) 外科的治療の種類              | p14 |
| 3. 陥入爪治療の原則      | p6  | (2) 外科的治療における注意点          | p15 |
| 4. 陥入爪治療法の選択     | p7  | (3) Oberst 指趾ブロック         | p16 |
| 5. 陥入爪の保存的治療     | p8  | (4) 爪甲部分除去術               | p17 |
| (1) 凶器による損傷を防ぐには | p8  | (5) フェノール法                | p18 |
| (2) 爪甲斜め切り・爪棘除去  | p9  | (6) 側爪郭減量—開放療法            | p19 |
| (3) テーピング法       | p10 | 7. 巻き爪の発生機序               | p20 |
| (4) コットンパッキング法   | p11 | 8. 巻き爪の治療                 | p21 |
| (5) ガター法         | p11 | (1) 矯正方法                  | p21 |
| (6) ワイヤによる矯正     | p12 | (2) 爪甲の加熱による可塑性を利用した巻き爪矯正 | p22 |
| (7) アクリル人工爪法     | p13 | 9. 陥入爪・巻き爪の予防             | p23 |

▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Webオリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

# I. 爪器官・各部位の名称 (図1)

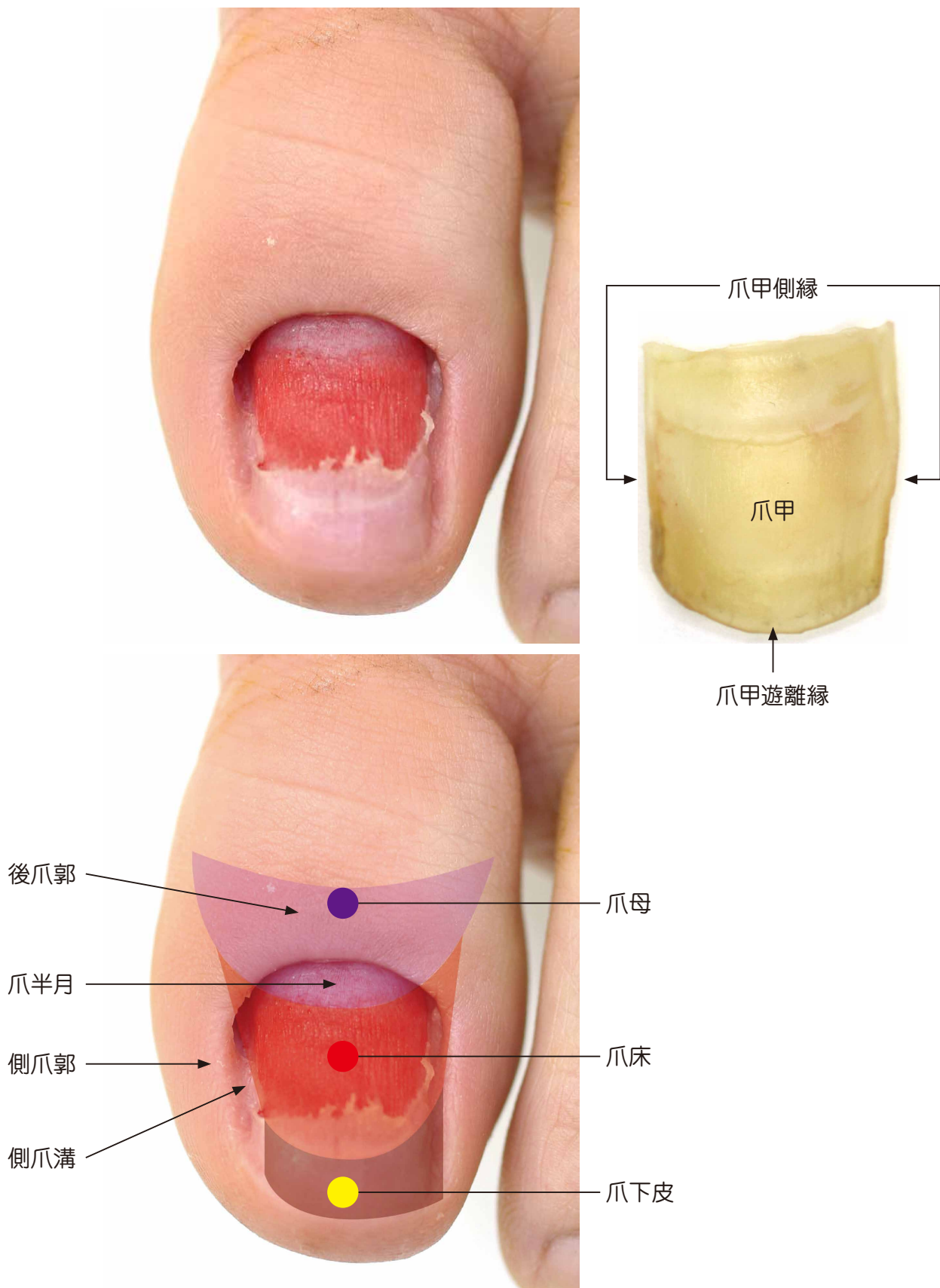


図1 爪器官・各部位の名称

## 2. 陥入爪の発生機序 (図2~4)

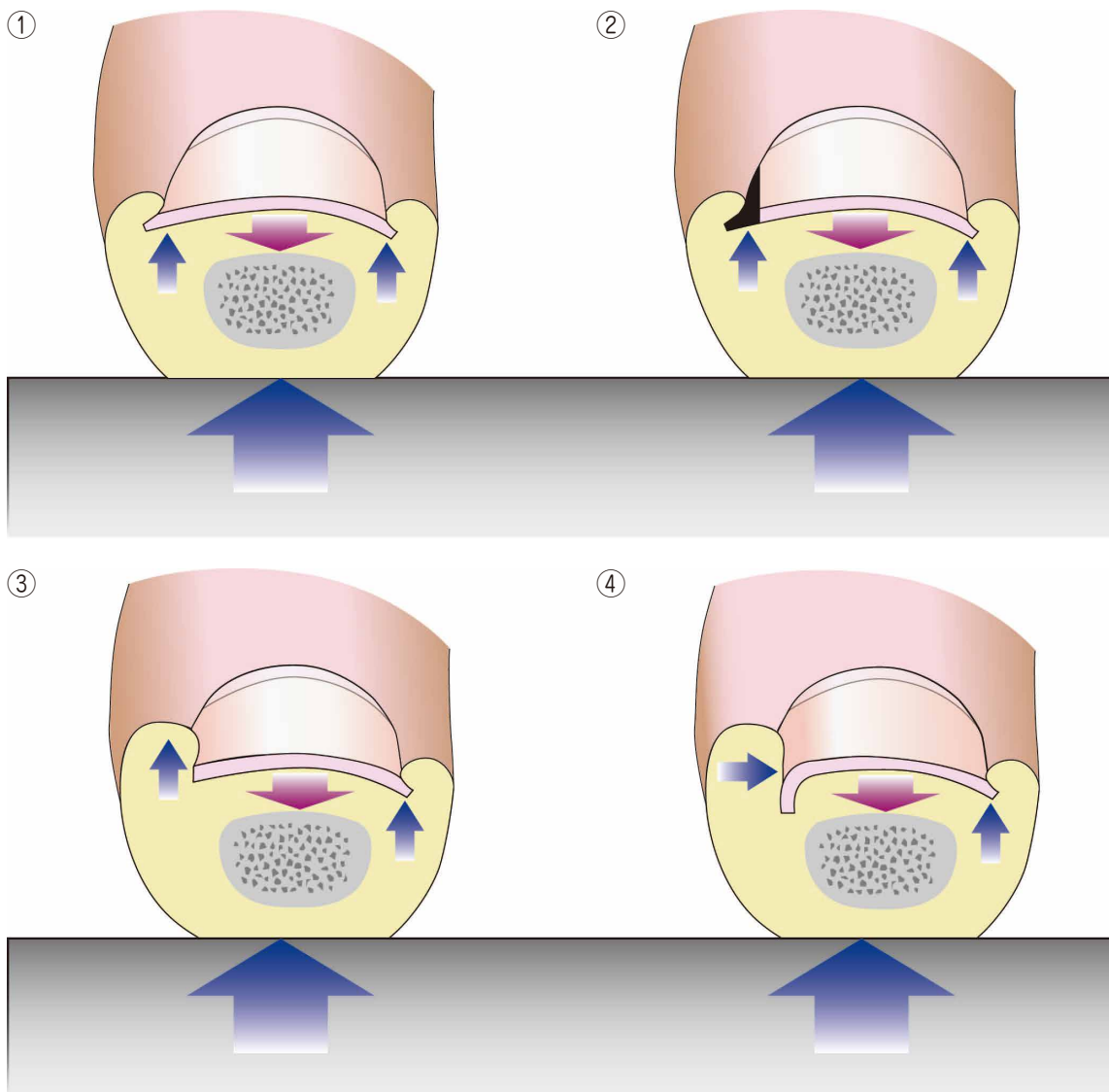


図2 陥入爪の発生機序(1)

- ①足の爪甲は立位運動時での下からの加重を支え、足趾軟部組織を保護している。
- ②爪甲の一部が欠損する。
- ③下からの加重を支えられなくなり、軟部組織が上方へ偏位する。
- ④軟部組織の隆起による圧迫で、爪甲は巻き込まれて陥入する。

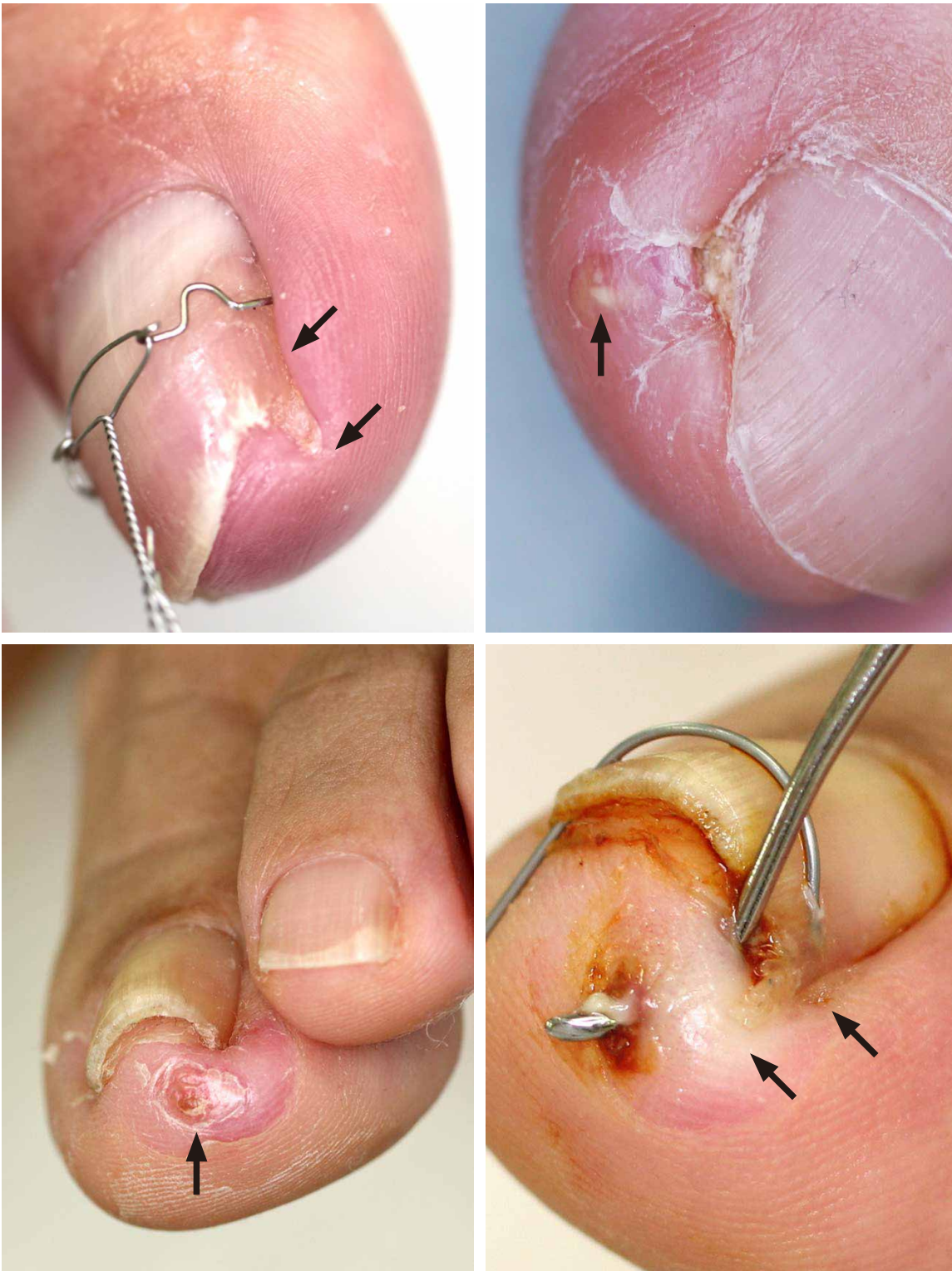


図3 陥入爪の発生機序(2)

爪甲は縦に裂けやすい構造を示し、さらに足趾爪甲は側爪溝と強く結合していることが多いため、爪甲の一部欠損でも側爪溝の部分の爪が棘状に残り(矢印: **爪棘**)、これが軟部組織を損傷する。

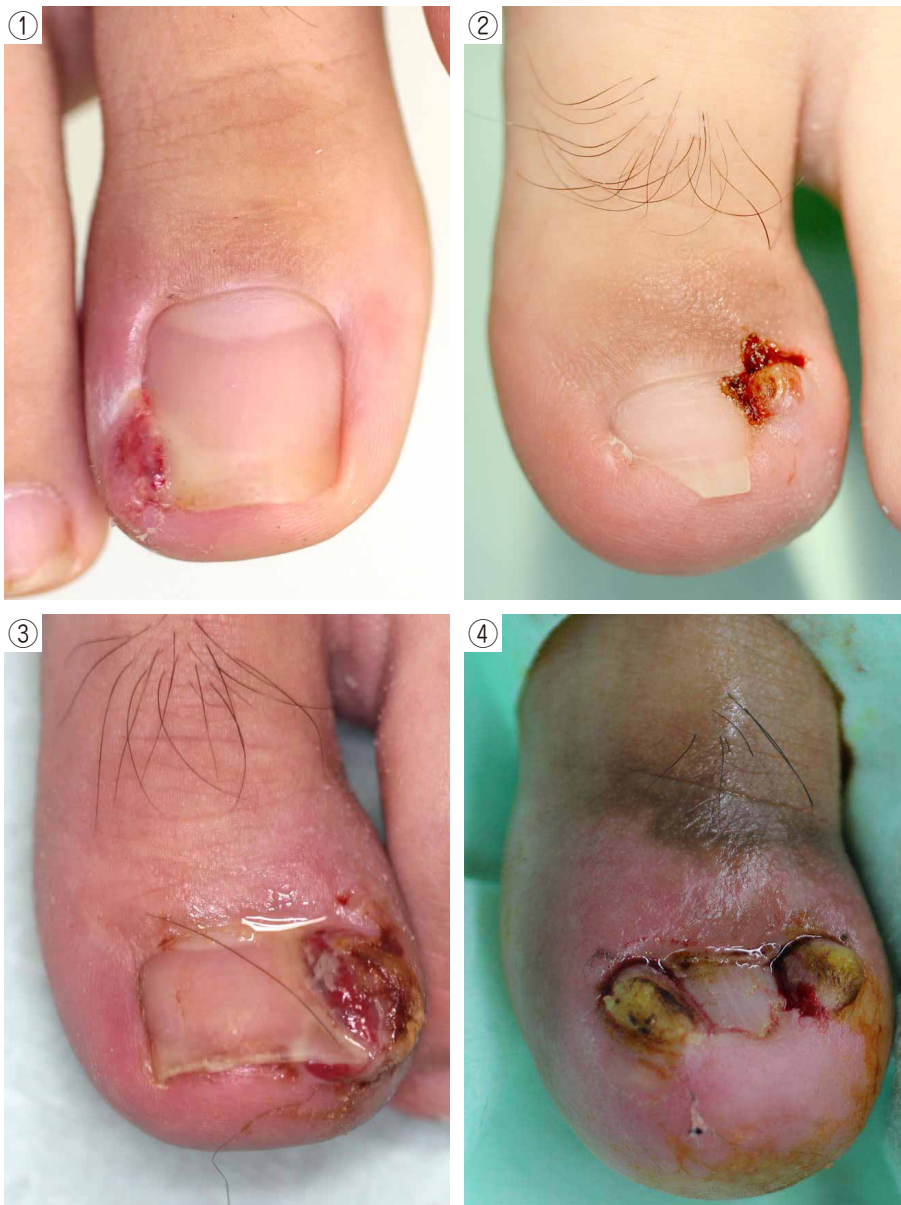


図4 陥入爪の発生機序(3)

- ①爪甲は生体にとって異物として反応する結果，炎症，異物肉芽腫が生じる。爪甲が薄く，運動の頻度が高いために爪甲の損傷を起こしやすい思春期に生じることが多い。爪甲の一部損傷は深爪が原因として最も多い。
- ②爪棘による疼痛をとるためにさらに深爪を繰り返すことで，肉芽が中枢へ拡大する。
- ③異物肉芽腫により侵軟した爪甲はもろくなり，容易に破碎され，さらに異物反応が拡大する。
- ④悪循環となり肉芽は爪甲を覆い，しだいに器質化していく。